

1. 第2次健康おたる21が目指す健康づくり

健康増進法に基づく、現行の「健康おたる21」が平成24年度で終了するため、新たに「第2次健康おたる21」を策定します。

本計画は、平成25年度から10年間の本市における健康づくりを進める指針となるものです。本市の最も大きな健康課題である、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの予防、重症化予防を基本に取組を進めます。「健康づくりは」、市民一人ひとりがそれぞれの健康観に基づいて取組むことではありますが、社会全体として健康づくりを積極的に支援する体制づくりも重要です。家庭、地域、学校、関係団体、職場・企業、行政などが相互に連携、協働して推進する体制を新たに構築し推進します。

2. 施策

がん・循環器疾患・糖尿病領域

- ・地域連携によるがん検診の普及啓発の推進
- ・地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発の推進
- ・血圧自己測定の推進
- ・ウォーキングの推進
- ・禁煙の支援
- ・受動喫煙防止の推進
- ・食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店などの登録件数の増加
- ・食事バランスガイドの活用推進
- ・栄養成分表示の店推進
- ・毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとることの普及啓発

精神保健領域

- ・悩みの相談窓口の周知啓発

口腔保健領域

- ・むし歯や歯周病の予防の推進
- ・歯周病セルフチェックの普及事業
- ・子供のむし歯予防対策事業

感染症領域

- ・麻しんワクチン接種の推進

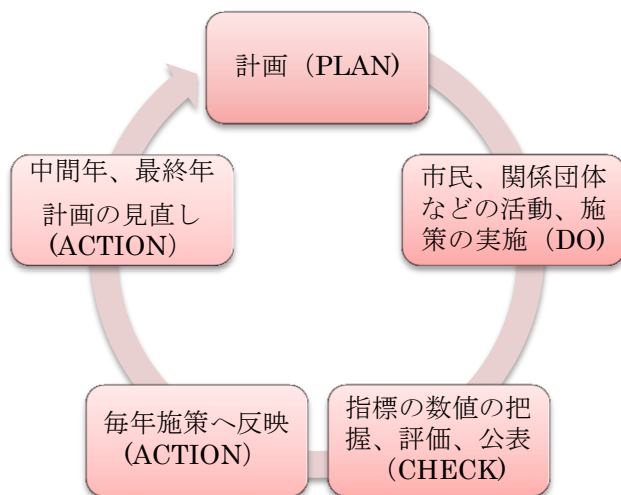
次世代の健康づくり

- ・思春期の健康教育の推進

3. 進行管理

進行管理に当たっては、新たに小樽市健康づくり推進ネットワーク会議（仮称）を設置し、毎年度事業実績を把握して評価・点検を行い、公表して、次の事業展開に活かしていきます。市民の生活を取り巻くあらゆる団体などが共有できるよう、客観性のある指標を使って進行管理をしていきます。

【進行管理の流れ】



4. 推進体制

計画推進のためには、市民一人ひとりの意識と行動変容とそれを支える社会環境の整備が必要です。そのため、家庭、地域、学校、職場・企業、関係するさまざまな団体、行政などが連携、協働を一層充実・強化するとともに、さらに企業連携などによる新たなネットワークの構築を図るため、新たに小樽市健康づくり推進ネットワーク会議（仮称）を設置し、情報交換や協働事業などに取組んでいきます。

